

体験、体感！KRPeopleの仕事

# KRP地区展示会

●開催日 2010年10月13日(水)  
●会場 京都リサーチパーク 西地区 4号館地下1F、バズホール、パンケットホール他  
●主催 京都リサーチパーク株式会社



京都リサーチパークで活躍する人々「KRPeople」は、老舗ベンチャーから最近の入居企業、そして公的機関までそのプロフィールは多彩だ。昨年開催した20年行事の地区展示会アンケートの意見をふまえて今年もKRP地区展示会が開催された。今年は地区内交流だけでなくビジネスチャンスのきっかけづくりも意識。

その一環として、今年は各ブースにインタビューが行われた。その模様は株式会社プロップのメディア事業部によりひとつの番組になり、会場の大きなスクリーンや地区内の数カ所でも中継された。どのブースも直接訪れてもっと話を聞いてみたくなるような事業紹介ばかりであった。そのなかでより個性豊かであった、いくつかを取り上げてみよう。

モノや人材が国際的に流動化している昨今、人材派遣の株式会社キャリアシップでは、6年くらい前から中国人技術者を求める声が増えるようになったことを受け、日本人に好まれるタイプが多いと見込まれる中国の東北地方に人材を求めた。現在約50名が特定派遣として働く。加えて、取引先から幅広いサービスを求められるようになり、日中経済貿易センターとの連携でワンストップソリューションを提供する。

株式会社ハイパーテックのセキュリティソフト「CrackProof for Android」は、携帯電話のコンテンツメーカーから相談を受けて開発した。アンドロイド端末上で

動作するアプリの解析・改ざんは容易ではない。Windows上にAndroidエミュレーターが存在するためクラッキングされやすく、対策が望まれていた。Androidスマートフォンの普及が進めば、さらに注目を集めそうだ。

そして昨年に引き続き今年もプレゼントを企画した(株)エイチアイトラベル。出展ブースで名刺交換したお客様に抽選で旅行航空券を贈呈。単なる名刺交換で終わらない遊び心ある交流で、展示会に来場する楽しみを演出した。

また、KRP地区と関わりのある企業からの出展もあった。KRP9号館内のモデルルームを手がけた海外メーカーのオフィス家具を扱う(株)インターオフィスはデザイン性も機能性にも優れた椅子を、(株)内田洋行からは新しいプロジェクタ投影システムwivia®(ワイビア)を。また、オリックス自動車(株)は出張などに重宝しそうな自動車リースとカーシェアリングを提案した。

展示会場を出ると読み応えのある入居企業のポスター展示などが所狭しと掲示されており、様々な入居企業の活躍が伝わってきた。

なお、展示会中は会場4カ所につづやきコーナーが設置され、ブース出展をした人、訪れた人のつづやきはタイムラインが流れるモニター「ツイネージ」に反映された。天候にも恵まれた秋の一日。出合いの相乗効果を目指し併催された「オープン・イノベーションマッチング2010」の参加者も訪れ、終始活気ある商談、交流でにぎわった。



## ブースピックアップ

Booth Pickup

### 作業支援から災害支援へ、電子タグの可能性 (株)ゴビ

代表取締役 島田 幸廣 氏

例えば、複数のガスバルブの操作をします。正しい手順を習得していても、人間なのでミスは起こります。しかし、ウェアラブル電子タグ「TECCO」と「状態検知タグ」を活用すれば、間違いなく、漏れもなく、作業を完了することができます。バルブのタグの読取状況から操作の状況がわかりますので、間違っただけでバルブを操作しようとするのを警告してくれます。もうひとつ。本日の会場で採用された「ツイネージ」はツイッターを会場用に活用したもので、リアルタイムな告知が可能です。



壁内の躯体や配管も外から確認できるので災害時にも活用が期待される

ツイッターのイベント用とも言えるツイネージ。ライブなつづやきが楽しい

ウェアラブル電子タグ「TECCO」

### 自宅で簡単に脳波を計れる「夢眠計」 (財)大阪バイオサイエンス研究所

研究部長 裏出 良博 氏  
吉田 政樹 氏



精密検査の前段階や製薬会社の製品開発にも役立ててほしいと語る開発者の裏出氏(右)と吉田氏

これまで睡眠中の脳波を測定するには一晩中、身体に20カ所程度にセンサーを貼り付けてデータを拾う必要がありました。しかし慣れない体験のため普段通り眠れない人も多いようです。携帯型脳波計「夢眠計(むいみんけい)」は、自宅で簡単に自分で睡眠中の脳波を測定できます。まずは睡眠改善機能を持つ食材や寝具を開発する際の検証に、次に人間ドッグなどの検査に、さらに一般向けにと、3ステップの開発を考えています。



JAXAで宇宙飛行士や地上管制官が突発勤務に従事する際にも活用されるという「夢眠計」

### 知育ソフトから高齢者向けツールまで 京都エンタテインメントワークス(株)

代表取締役 上野 和孝 氏



上野氏はこの日の学生向けパネルディスカッションにもパネラー参加

「アタマ倶楽部」は高齢者施設向けのシステムで、20人まで一斉に参加でき、誰でも簡単に脳を鍛えることができるグループトレーニング用ソフトです。脳の刺激が介護予防につながると、医師や専門家にも推奨されています。「ひらめきクロスワード」はひらがなが読めるようになった幼児のための知育ソフトとして開発したiPhoneアプリです。お子様と外出時の待ち時間などに親子で遊ぶことができます。「花火職人になろう」もiPhoneアプリです。



美しい映像と効果音がファンタスティックな「花火職人になろう」

### 安全な人工栽培野菜を安定供給 トレード グループ

(株)トレード 川口 友菜 氏  
(株)プロップ 伊藤 雅也 氏



安全で安定供給できる野菜をどしどし広げていきたいと語る川口氏(右)と伊藤氏

トレードグループでは「人」を知ってもらおうと社長の福田信二はじめ社員の顔写真をパネル掲示しました。私たちが大事にしているのは「世の中の役に立つ仕事でありたい」ということです。事業の一つの人工栽培野菜は変わらぬ価格で変わらぬ品質を提供する新しい農業です。野菜メーカーとして安全で便利な野菜にこだわり、そのための環境づくりを日々考えています。



トレード 代表 福田信二氏の理念は10年余を経て、農業・流通・物流・販売・PRと、多岐なグループに結実した

## ブース展示

### 企画・営業・サービス

- (株)イメージワークス
- (有)エイチアイトラベル
- 大阪ガススクッキングスクール京都
- (株)アプリーティセサモ運営
- 京都試作センター(株)
- (株)スプレッド
- (有)セクレタリアット
- (有)セクレタリー・オフィス・サービス
- (株)トレード
- (株)ルークラン
- 建築・設計・土木
- KSクリエイティブ(株)
- デザインボックス
- デザイン・印刷
- あさひ高速印刷(株)

- (株)ガルデザインシステム
- (株)レシピア
- 機械・装置・器具
- (株)SDI
- 展示企画・ディスプレイ
- (株)イマジシ
- (株)ディ・ワークス
- (株)アコースト・コーポレーション
- IT(サービス)
- (株)インテージ 事業開発本部
- 京都分室
- (株)フューチャーコマース
- (株)フューチャースピリッツ
- (株)メディアウオーズ
- IT(開発)
- (有)京都情報化支援事務所
- (株)ゴビ

- (株)シーズ
- (株)SOBA プロジェクト
- (株)知能情報システム
- (株)トランスフィールド
- (株)ネットアイアールディー
- (株)ハイパーテック
- 団体事務局
- (株)中小企業診断協会
- 特定非営利活動法人 子どもサポートプロジェクト
- 店舗・生活支援施設
- コ・ス・バ 京都リサーチパーク
- 大学・研究機関
- (財)大阪バイオサイエンス研究所
- (株)KRI
- 医療・健康・科学・バイオ
- インタクト(株)
- カジックス(株)

- 電機・電子・半導体
- (株)ニューエコセラテック
- ワイエムシステムズ(株)
- IT(コンテンツ制作)
- (株)イー・エージェンシー
- 京都エンタテインメントワークス(株)
- (株)情報通信研究所
- 特定非営利活動法人 アイ・コラボレーション
- 支援機関
- (株)京都高度技術研究所
- 京都産業 21
- 京都市産業技術研究所
- 京都府中小企業技術センター
- コンサルティング
- 河野特許事務所
- (株)キャリアシップ
- 株式会社銀行

50音順

## ポスター展示

- IT(サービス)
- 紅茶専門店 セレクトショップ
- (株)エクストラコマース
- IT(開発)
- イントロート(株)
- (株)エスアンドエス・プラス
- (株)パッションナリア
- MAP ENGINEERING(株)
- IT(通信インフラ)
- (株)スマートテクノロジーズ
- コンサルティング
- セーフティプラス(株)
- (株)テクノリンクス・インターナショナル

- 店舗・生活支援施設
- YEBISU Japanese Dining Café and Bar
- (株)ISM
- (有)清雅
- TAVEARN KOKORO(有)清雅
- 電機・電子・半導体
- (株)形相研究所
- (株)ダブリュー・ビー・トランス
- デザイン・印刷
- (株)COLOR'S PRODUCTION
- マーケティング・デザインセンター Ltd.
- 大学・研究機関
- 京都大学 生存圏研究所 電波応用分野研究室
- 団体事務局
- (独)科学技術振興機構
- さががけ「情報環境と人」領域事務所

50音順

# 学生向けパネルディスカッション

何のために働くか、KRPベンチャーたちの挑戦

なぜ起業したのか。働くとはどういうことか。問いかけとともに「働く」実像に迫る。



ファシリテーター



株式会社パシオ  
取締役 今井 秀司氏

自らも、京都リサーチパークで起業し活動していた。今回は、就職対策と人材採用のプロとしてだけでなく、学生たちの兄貴的存在として、その心情に沿ったことばで「働く姿」を浮き彫りにした。  
<http://pasiocorp.jp/>

パネリスト



京都エンタテインメントワークス株式会社  
代表取締役 上野 和孝氏

プログラムやゲーム制作に興味を持ち、情報系の大学に進学。プログラマーになりディレクションを任せられるも、激務で体調を崩し、移籍後の会社で7年勤めた後、独立。社員のワンルームマンションを社屋代わりにした時代も経て、現在はiPhoneアプリや電子玩具を開発する。  
<http://www.entaworks.co.jp/>



株式会社イメージワークス  
代表取締役 澤田 賢二氏

学生時代から飲食店を3軒かけ持ちしつつ働き、起業を志し21歳で弁当屋を興す。その後経済的な苦労を経て、ITのインフラ支援を行う(株)イメージワークスを興す。現在グループ全体の従業員は100人を超える。社会に貢献できることが喜びと語る。  
<http://i-w.co.jp/>



合同会社オーシー  
CEO/SA 折笠 僚洋氏

16歳からフリーターになり多彩な職種を経験。20歳で結婚、父親に。起業してからはKRPの先輩起業家とともにITの開発に邁進。そして今年、オーシーを新たに設立。合同会社だからこそ「自分のやりたいこと」であるITマネジメントサービスを提供できると語る。  
<http://www.ocids.com>

KRPeoplex College Student Q & A

ファシリテーターの今井氏から、KRP地区から「まぐまぐ」や「はてな」が生まれていること、ベンチャー企業のメッカであることの説明の後、KRPベンチャー企業のトップ三者に質問をする形式でパネルディスカッションが進められた。「なぜ、起業したのか」、「働くとはどういうことか」、「起業して良かったと感じる瞬間や出来事は」……学生に近い言葉で投げかけつつ、働くことの実像に迫った。

働くとはどういうことか

**折笠氏**／働くことは人生。生き方そのもの。「働くイコール私」と言っていていいくらい、一体化している。生き方と同調させる働き方をつくっている。

**澤田氏**／働かなくてもいい、人に必要とされない状態を想像すると、苦しい。結局社会に貢献できること、喜んでもらえることが、働くことだと思う。

**上野氏**／一緒につくる仲間がいて、売ってくれる人がいて、買ってくれる人がいる。働く自分の周りにいろんな人が関わってくれて、世に出て、何とか生活できている。野望もあるにはあるが、やはり一番は感謝することが、働くこと。

学生へのメッセージ・社会人になる前に

**折笠氏**／学生時代と違い、ほとんどの時間が働くことになってしまうので、プレッシャーも感じるだろうが、いい経験につながる。全身全霊をかけてしてほしい。

**澤田氏**／自分のやりたいことを仕事にできればいいが、そうでない場合でも、始めたことを好きになるようにするといい。チャンスを見つけて、できるフィールドを考えて、それを好きになろうと努力してほしい。

**上野氏**／学生時代と全く違う環境に放り出されるので、3年間は文句を言わずがんばってほしい。

学生からの質問

① 京都産業大学3年生 中村さんより

「清掃作業をボランティアでやっているが、ビジネスとしての将来性はどうか」



**澤田氏**／大事なことは、自分たちでその仕事が見えていること。例えば太陽光パネル1枚売れると木が何本植えられるかといったことが分かれば、ビジネスにもなり、モチベーションにもつながる。

② 京都産業大学3年生 湯川さんより

「起業するときのパートナー選びで気をつけることは？」



**折笠氏**／尊敬できる人。自分より何かできることを持っているなど、いいところを見つけれられるかどうか。

**澤田氏**／信頼しあえること、補完しあえること。

**上野氏**／特に選んでいない。縁があれば仲良くしてきた。自分は営業が下手なので、人との出会いが多いKRPを選んだ。そんな風に自分ができないことをやってくれる相手であれば。

「お客さん」が見えているか。

集客アップの方法論  
Webサイトアクセスアップの落とし穴

講師  
株式会社イー・エージェンシー  
グローバル事業本部 Webソリューショングループ  
曾利 昌広氏



中堅企業のWebマスターが抱えている問題に「アクセスや売上げが伸びない」ことがよくあげられます。しかし、突き詰めると「お客さんが見えていない」状況こそが、本当の問題であるという事実が浮かび上がってきます。お客さんをどう見るか。買ってくれた人を客とみるか、訪問してくれた人を客と見るか。この軸をしっかりと持ち、そのうえで、Webを構築し、成果となる数値化をきちんと行います。最近では企業キャラクターを設定し、ツイッターのアカウントを持たせてつぶやかせると、ソーシャルメディアを上手に活用するWebサイトが増えています。

ウェブの未来をつなぐ温故知新

HTML5がつれてくる  
次世代ウェブと標準化の重要性

講師  
W3C/Keio  
(慶應義塾大学 SFC研究所 World Wide Web Consortium)  
深見 嘉明氏



最新のウェブ技術の動向についてたくさんの情報が配信されていますが、意外にウェブの成り立ちについて語られることは多くありません。ウェブの黎明から今までの歩みを知ることが未来を考え、イノベーションを推進するための要です。「HTML5」はウェブの未来の中核を担う技術でありウェブ技術者が期待を寄せる最新技術。だからこそ「HTML5」の標準化が重要になっているのです。

※ W3Cはウェブ標準規格を策定する団体です。W3Cが関西で、また技術者以外を対象にした講演をされる機会はありません。貴重なセミナーとなりました。

クラウドをどう使う? どう生かす?

クラウドとは何か

講師  
オープンソースカンファレンス実行委員会  
日本仮想化技術株式会社/株式会社びびねっと  
代表取締役社長 宮原 徹氏



「クラウドコンピューティング」とはネット上のコンピュータを利用することであり、いくつかの技術を組み合わせさせたサービスです。オンデマンドに利用できる、コストが適正化できるというような利点も多く現在は自社インフラへの導入、OSやハードウェアのサポート切れ対策に多く利用されています。これからより利用が増加してくるでしょう。しかし、ただクラウドを利用すればいいというものではなく何に使うかの整理、ハイブリッドな構成などを考える必要があります。クラウドはあくまでも手段。手段を活用できる人材が不可欠です。

地域のハブとしての  
インキュベーションマネージャーとは

インキュベーション施設に求められる役割  
オープン・イノベーションの中核として

講師  
大阪大学 大学院  
工学研究科 教授・産学連携推進本部 副本部長  
後藤 芳一氏



インキュベーション施設(以下インキュ施設)は入居企業支援という伝統的役割に加え、今後はオープン・イノベーションの拠点(ハブ)の役割が求められます。①内向きの入居者支援→②施設として戦略的運営→③地域でのハブ→④ベンチャー支援策の体系に位置つけた運営へと高度化が必要です。大阪大学は全国に先駆け「共同研究講座」(1社年間約3千万円が27講座)を設け、その延長で来春、11000平米の新棟を開きます。大学主導の産学連携専用施設では日本最大級です。インキュ施設の新業態ともいえます。今後、一層各インキュ施設の目的と競争力を磨く必要があります。

展示会をビジネスの場に変えた草分けからの提言

どのようにしたら展示会で売上を  
拡大できるのか  
そのための具体的な方法

講師  
リード エグジジション ジャパン 株式会社  
常務取締役 岡部 憲士氏



日本では長らく展示会は「お祭り」のような扱いです。我々はこれをビジネスの場に革新させ、その結果、弊社主催の展示会では多数の出展企業が大きな売上を上げています。弊社は、現在年間53本を開催し、国内最大の主催会社として評価をいただいております。そこで得られた傾向を分析すると、売上拡大の方法は4つあります。「座って商談」「時間指定のアポ取り」「くまなく招待」「商談の環境づくり」です。いずれも積極的にお客様に働きかけることが大切です。展示会は「展示」の場だけでなく「セールス」の場でもあるからです。

ビジネスの経営課題を解決する  
浪速のサムライたち

合同会社マネジメント・サポートによる、  
連続セミナー

講師  
QMS審査員補 小川 真氏(写真)  
中小企業診断士 中嶋 克己氏



2010年3月に設立した合同会社マネジメント・サポート(LLC-MS)では、製造系、人事労務系、飲食など多彩ジャンル専門家が集まり、豊かなバックボーンで企業の諸問題を解決しています。私たちは11月からKRP地区で連続セミナー「事例から学ぶ経営者の視点～皆さんの会社はいかがでしょうか?～」をスタートさせます。経験豊富な経営コンサルタント8名が講師となり実践に基づく生々しい事例をたくさん盛り込み、分かりやすく解説します。経営者だけでなく右腕、といわれるような経営幹部の皆様にとりましても経営に関する多くの気づきをえられる機会となるセミナーです。